

インマヌエル中目黒キリスト教会
2010年10月31日
聖日礼拝

「いつまでも主とともに」

1テサロニケ4章13-18節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

新約聖書

1テサロニケ4章13-18節

13 眠った人々のことについては、
兄弟たち、
あなたがたに知らないで
いてもらいたくありません。
あなたがたが
他の望みのない人々のように
悲しみに沈むことの
ないためです。

14 私たちは

イエスが死んで復活されたことを信じています。

それならば、

神はまたそのように、

イエスにあって眠った人々を

イエスといっしょに

連れて来られるはずですよ。

15 私たちは

主のみことばのとおり
に言いますが、
主が再び来られるときまで
生き残っている私たちが、
死んでいる人々に
優先するようなことは
決してありません。

16 主は、号令と、
御使いのかしらの声と、
神のラツパの響きのうちに、
ご自身天から下って来られます。
それからキリストにある死者が、
まず初めによみがえり、

17 次に、生き残っている私たちが、
たちまち彼らといっしょに
雲の中に一拳に引き上げられ、
空中で主と会うのです。
このようにして、
私たちは、
いつまでも
主とともにいることになります。

18 こういうわけですから、
このことばをもって
互いに慰め合いなさい。

説教

1テサロニケ連講14

「いつまでも主とともに」

1テサロニケ 4章13節-18節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「このようにして、私たちは、
いつまでも主とともにいること
になります。」

(1テサロニケ4:17)

1. 死者が再臨に遅れてしまう ことはない(14-15節)

- テサロニケ信徒の心配は無用
- それは、主イエスの言葉に基づく
- パウロは、
生きたまま再臨を迎えると
期待していたか？

2. キリストは堂々と来られる (16節 a) (イラスト1)

- ・ 号令：主ご自身の叫び
(ヨハネ5：28—29)
 - ・ 声：天使長の宣言
 - ・ ラツパ：公式な告知
(1コリント15：52)
- 主はこっそりと来られる
のではなく、
王として、堂々と来られる

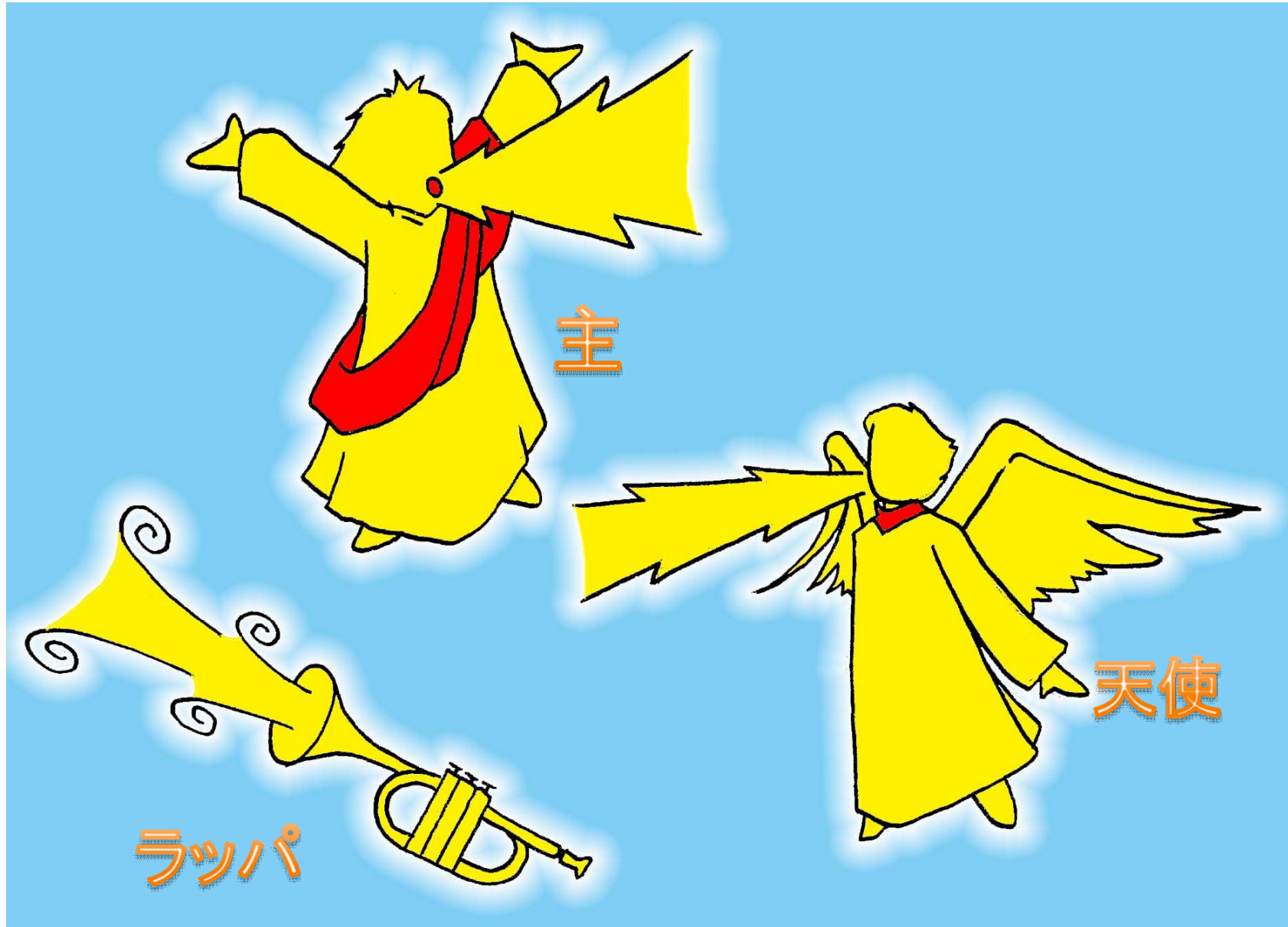


イラスト1

3. 死者は栄光の体に甦る (16節b) (イラスト2)

- 死んで、
キリストと共に憩っている人々
- 彼らはその場で栄光の体に甦る
(1コリント**15：52**)

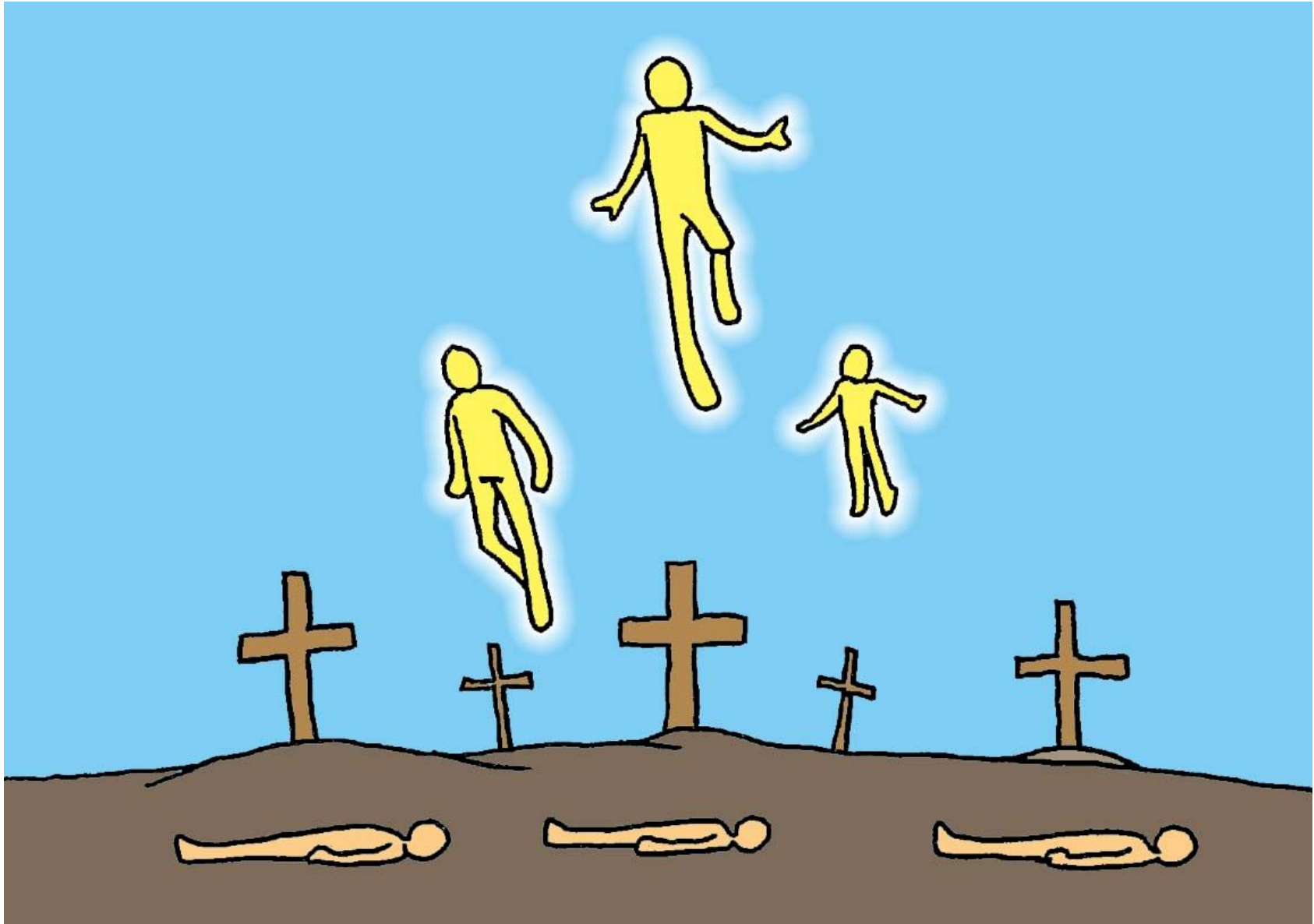


イラスト2

4. 生きている人は
引き上げられる (17節 a)
(イラスト 3)

- 「引き上げる」とは、
動物が獲物を捕まえて
運び去るイメージ
- 生きている人々も
栄光の体に変えられる
(**ローマ8:23**、
1コリント15:50—53、
ピリピ3:21)

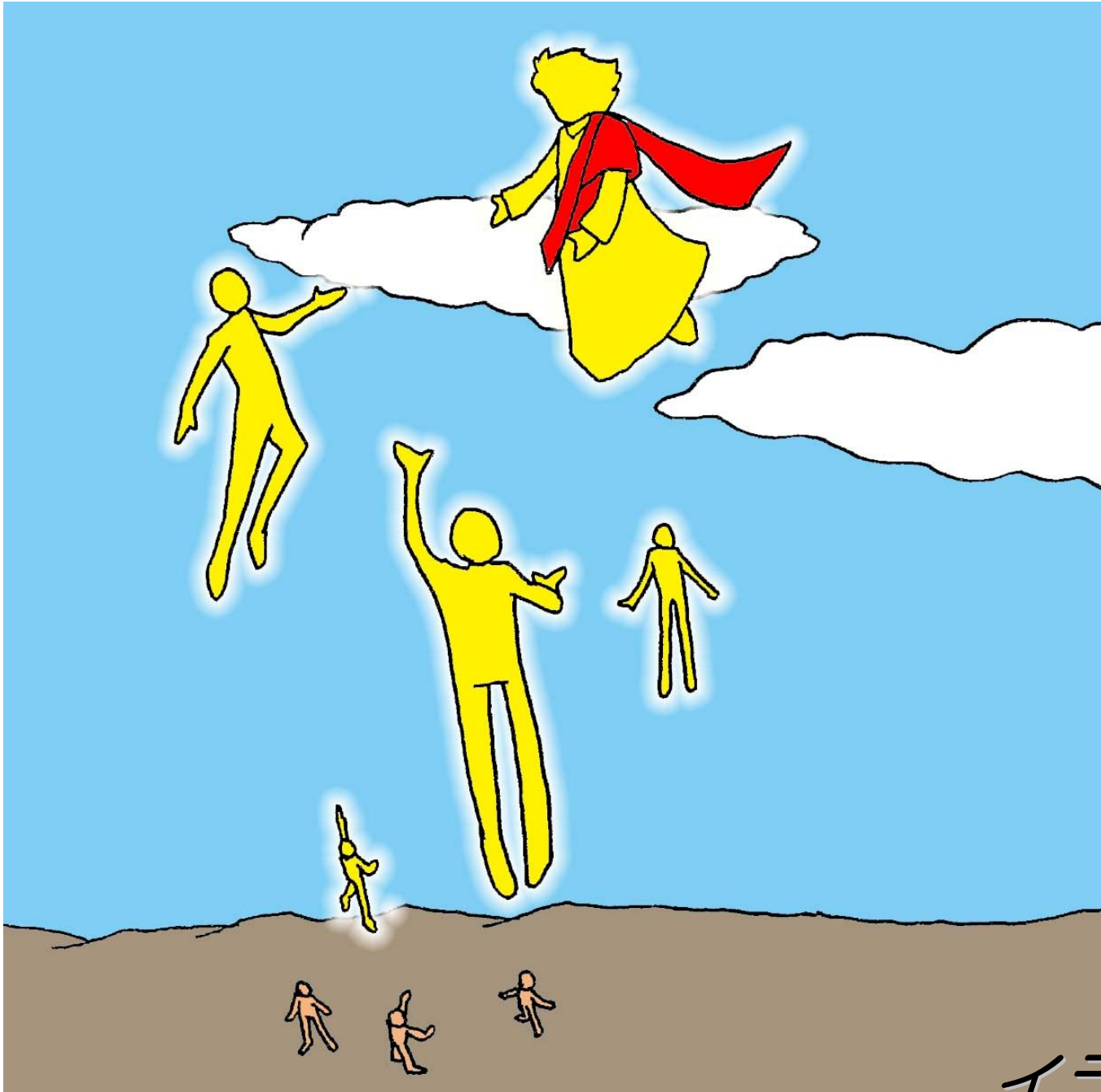


イラスト3

- その後は？：
「千年期前再臨説」によると、
患難時代、千年王国時代と続く
- 「レフト・ビハインド」は
起きるのか？
- 「携拳」という言葉は、
新約聖書でここだけ

5. いつまでも主と共にいる幸い (17節b)

- 私たちを尽きない恵みの深さ
へと導く
 - 主イエスの計りがたい愛を
一層究めていく
 - 「証し会」のバラエティ
- この希望が、
課題を乗り越えさせる力

6. この希望によって 慰め・励まし合おう(18節)

おわりに

- ・ 私たちの備えは？
- ・ この希望に励まされよう
- ・ この希望で互いを励まそう